

ハイローベッド&チェア

ユラリズム スマート

ユラリズム スマート プレミアム

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は室内用の新生児*から48ヶ月
(参考体重18kg)までのお子さま1人用
簡易ベッド、兼用チェアです。

*ここでいう新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週
以上の乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用
については、医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読み
のうえ正しくお使いください。

お読みになった後は、本書はいつも取り出せる
場所に必ず保管してください。

本書に記載されている以外の方法で使用しない
でください。製品の機能が充分発揮できないだ
けでなく大変危険です。



SG安全基準

目次

はじめに

ご使用前に	1
製品を取り出した時に	1
使用条件	2
ご使用上の注意	3
本書の表示について	3
警告	3
注意	6
各部の名称	7

使用方法

高さ調節のしかた	8
移動のしかた	8
お子さまの乗せ方	9
肩ベルトの収納のしかた	11
リクライニングの使い方	11
テーブルの使い方	12

使用方法

トレーの使い方(一部グレードのみ)	13
スwingの使い方	14
縫製品の使い方	15
縫製品の取り外し方	15
腰ベルトの取り外し方	17
股ベルトの取り外し方	17
縫製品の取り付け方	18

お手入れ／その他

日常のお手入れ	19
縫製品の洗浄方法／車体のお手入れ	19
保管について	20
廃棄について	20
SGマーク制度について	20
保証とアフターサービスについて	21
保証書	22

- 本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
- 本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- 製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー用品 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

本製品は、室内におけるお子さま用の簡易ベッドや、チェアとして使用されることを目的としています。

〈製品の使用時間〉

- ・スwingは1回15分以内。
- ・スwingのくりかえしは60分以内が望ましい。
- ・1日の使用時間は合計3~4時間までが望ましい。

〈使用できるお子さまの年齢〉

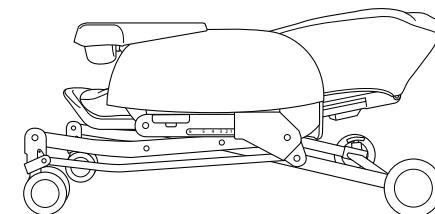
- ・簡易ベッド：新生児からひとり座りできるまで（月齢の目安は7カ月、参考体重9kg）
 - ・チェア：ひとり座りができるようになってから48カ月まで（参考体重18kg）
- ※リクライニング③（P2参照）のみ、ひとり座り出来る前からご使用いただけます。

製品を取り出した時に

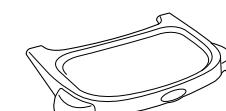
- ・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- ・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P21参照）
- ・ご使用の前に、P22「保証書」に次の項目をご記入ください。
 - ①品番、ロット番号（P7「各部の名称」参照）
 - ②お買い上げ年月日
 - ③お客様のお名前、住所、電話番号
 - ④販売店名
- ・レシート（領収書）を本書と一緒に保管してください。（P21参照）

本体

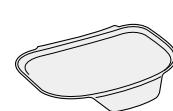
- ・箱から取り出した時は高さが最下段の状態です。（高さ調節のしかたはP8を参照してください。）



付属品



テーブル
(本体に装着されています。)



トレー
(一部グレードのみ)



取扱説明書／保証書
(本書)



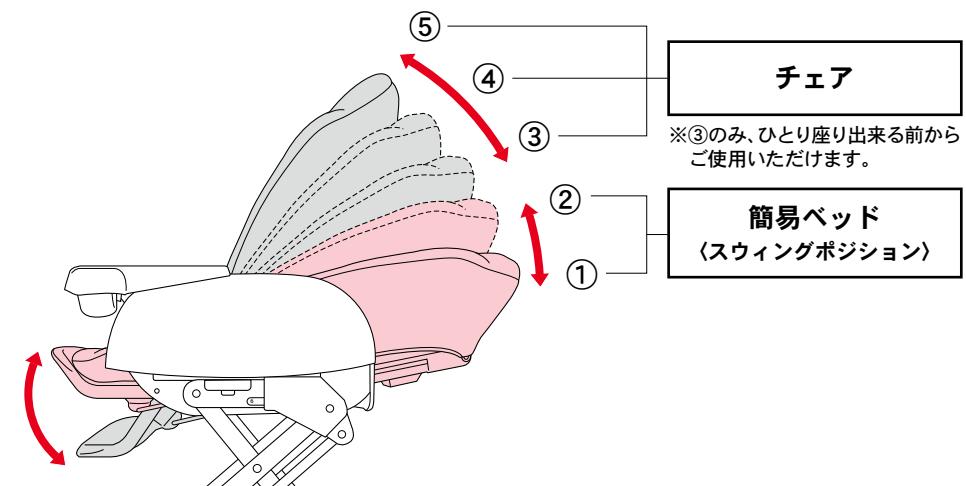
- ・製品が入っていた箱、梱包部材、緩衝材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。

使用条件

お子さまの発育に合わせて使用してください。

月齢の表示は目安です。お子さまの発育により個人差があります。
表中の○は使用可能、×は使用不可を示しています。

使用期間	新生児※～ 首がすわるまで	首がすわってから～ ひとり座りが出来るまで	ひとり座りが出来る～ 48カ月まで
月齢の目安	新生児～2・3カ月頃	2・3カ月頃～7カ月頃	7カ月～48カ月
参考体重	2.5kg～7kg	7kg～9kg	9kg～18kg
シートベルト	肩ベルト	必ず使用	・座高46cm（参考月齢18カ月）まで使用。 以後は使用不可。（収納する）
	腰ベルト 股ベルト	必ず使用	必ず使用 36カ月まで必ず使用
使用方法	簡易ベッド	簡易ベッド チェア	チェア
スwing	○	○	×
リクライニング	①	① ②	③ ③ ④ ⑤



※ここでいう新生児とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上の乳児を指します。
この条件を満たさないお子さまへのご使用については、医師にご相談ください。

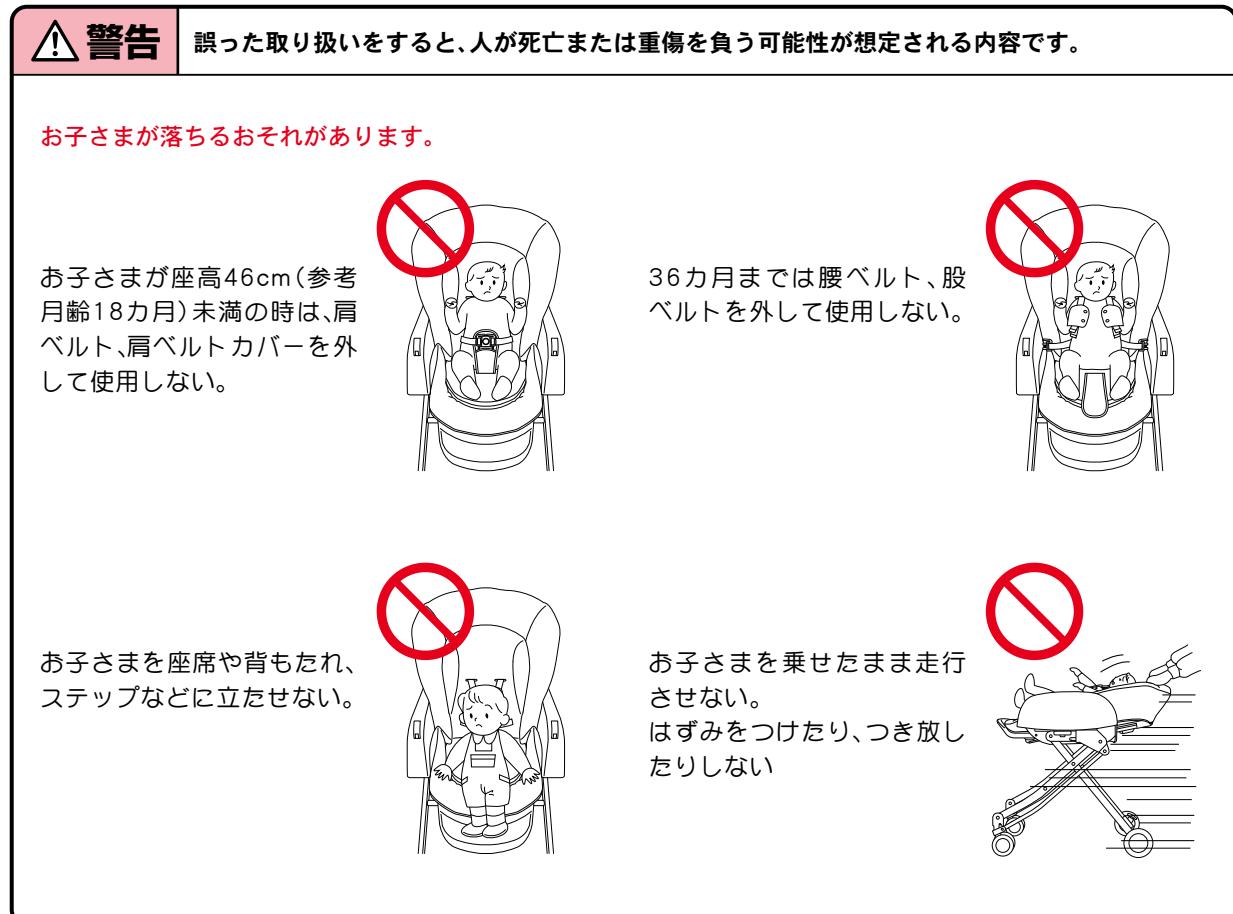
ご使用上の注意

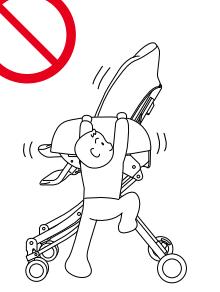
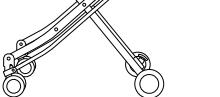
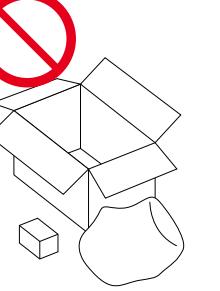
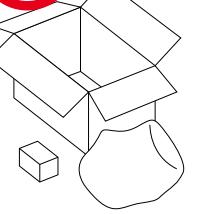
本書の表示について

「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
禁止記号	表示の意味
🚫	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
👉 アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。



⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
	製品が転倒するおそれがあります。	
	<p>傾斜や段差のあるところで移動および使用しない。</p> 	<p>2人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。</p> 
	<p>お子さま一人で乗り降りさせない。</p> 	<p>お子さまが手を掛けたり、よじ登ったりなど、外から力を加えない。</p> 
	<p>お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。</p> 	<p>可動部などに手足を挟み、けがをするおそれがあります。</p> 
	<p>シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。</p> 	<p>スwingさせる時以外、スwingロックを解除しない。</p> 
	<p>バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。</p> 	<p>お子さまがかぶったり、誤飲して窒息するおそれがあります。</p> 
	<p>お子さまを乗せたまま持ち上げない。</p> 	<p>製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。</p> 

ご使用上の注意

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

思わぬ事故につながるおそれがあります。

一時的なお昼寝などには使用できますが、夜間就寝用など長時間のベッドとして使用しない。



スwingは保護者が行い、必ず付き添っていること。
またスwingは1回15分を
目安とし、それ以上の連続した
スwingを避ける。



お子さまの身体をテーブル
やアームレストから乗り出
させない。



お子さまを乗せたままで高
さ調節をしない。



お子さまに衝撃が加わるほど強くスwingさせない。



暖房器具などの付近では使
用しない。



- ・お子さまを乗せたまま1人で放置しない。
- ・ストッパーで車輪をロックしていても、お子さまが乗っている時は目を離さない。構造上、耐久性などから、絶対に動かないようにできるものではありません。
- ・毛布などを使用される時は可動部に挟まれないように注意すること。また、毛布などを無理に引っ張ったりしないこと。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品が身体にぶつかるなどして、けがをするおそれがあります。

高さ調節やリクライニング操作時、スwing中はお子さまを周りに近づけない。



製品が破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

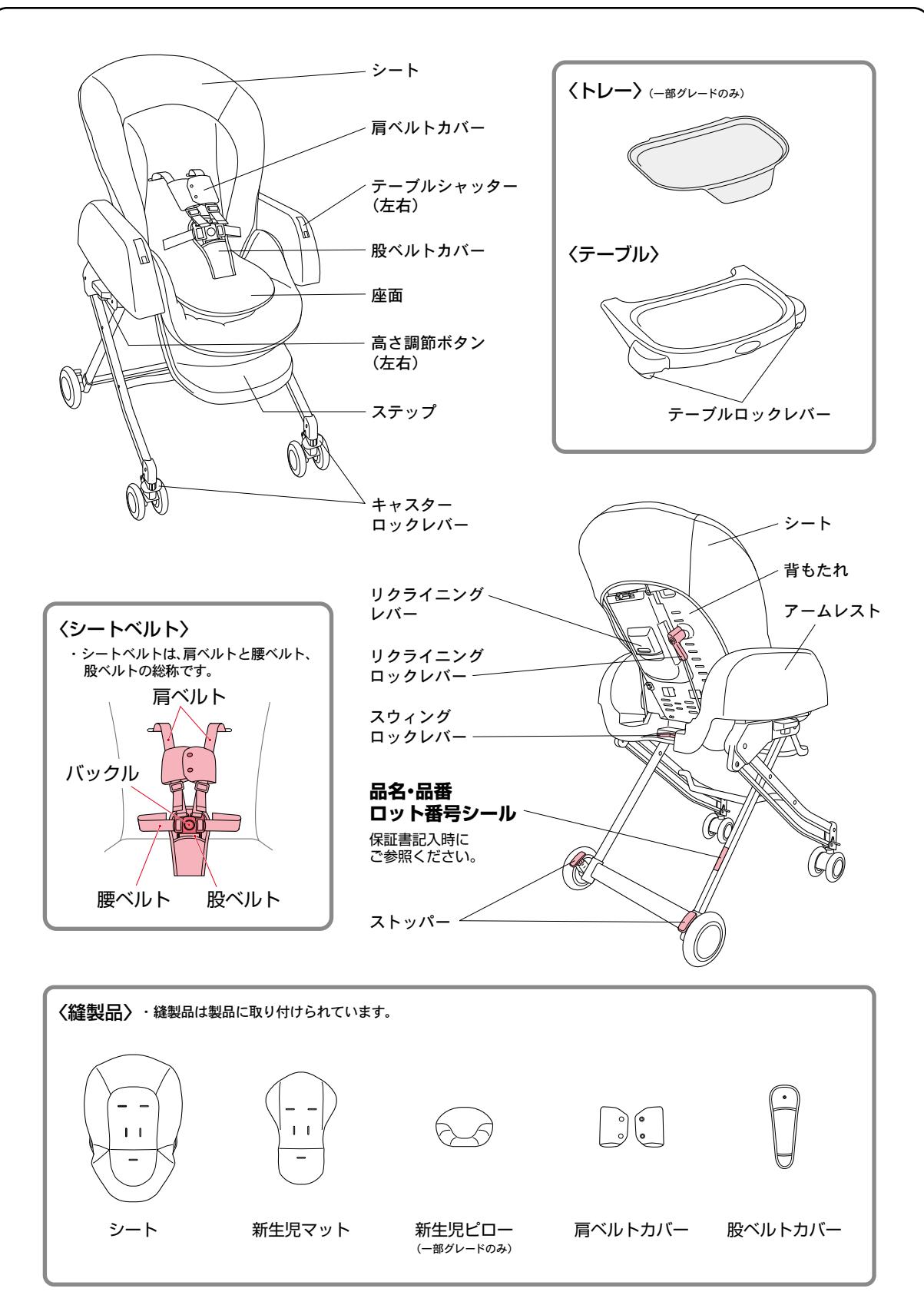
- ・簡易なベッド状態は新生児からひとり座りができる(参考月齢7カ月)まで以外のお子さまに使用しないでください。
- ・チア状態は腰がすわって(ひとり座りができる)から48カ月(参考体重18kg)以外のお子さまに使用しないでください。
- ・お子さまに製品を操作させない。
- ・お子さまの遊び道具として使用しない。
- ・シートを外した状態で使用しない。
- ・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった製品は使用しない。
- ・弊社サービス員以外は分解、組立て、改造をしない。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

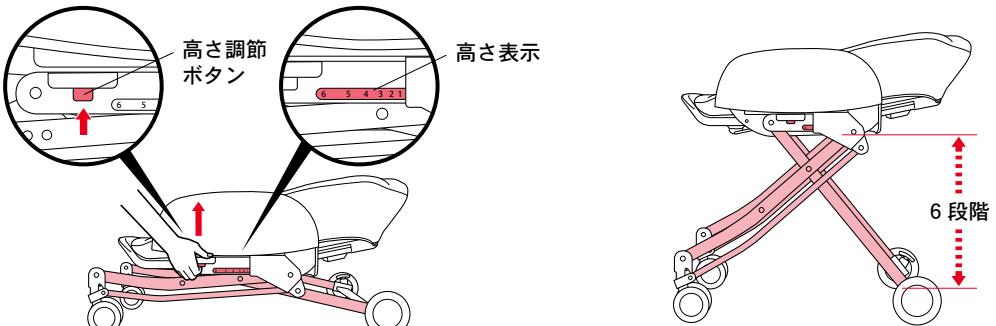
- ・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
- ・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しないでください。
- ・移動させるときに、キャスターとストッパーをロックしたまま横すべりさせないでください。床面を傷つけるおそれがあります。
- ・火気及び温風機など、高温になる場所に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
- ・その他、故障の原因となるようなことはしないでください。
- ・荷物などの運搬に使用しないでください。
- ・踏み台として使用しないでください。
- ・保護者、介護者などが、製品に腰掛けないでください。
- ・屋外で使用しないでください。
- ・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。

各部の名称



高さ調節のしかた

・お部屋や利用するときの状態に合わせて、高さを6段階(1 ⇄ 2 ⇄ 3 ⇄ 4 ⇄ 5 ⇄ 6)に調節できます。



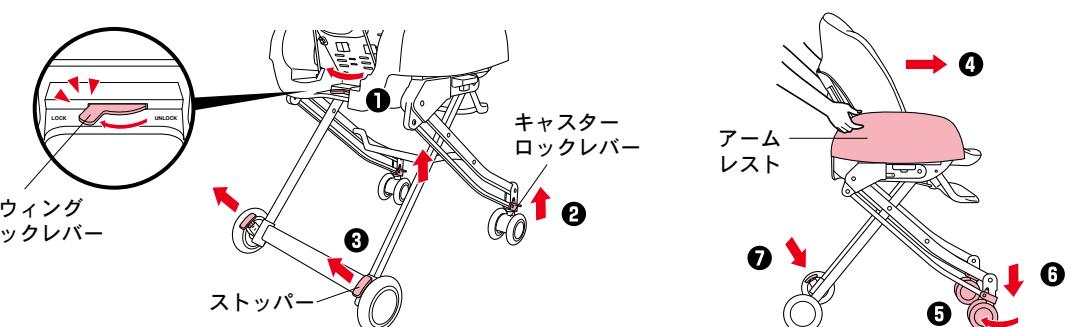
- ①本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、本体の高さを調節する。
- ②利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。
- ③固定されていることを確認する。
- ④左右の高さを確認し、高さが違う場合は、もう一度やりなおす。

警告

- ・お子さまを乗せたまま高さ調節をしない。
- ・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意してください。
- ・高さ調節は、お子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。

移動のしかた

・室内で向きを変えたり、移動するときにキャスターを使用します。
移動しないときは、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。



- ①スwingロックレバーを「LOCK」側に動かし、ロックする。
- ②キャスター ロックレバーを上げ、ロックを解除する。(左右)
- ③ストッパーを上げ、ロックを解除する。(左右)
- ④両手でアームレスト部を持って移動する。
- ⑤キャスターを内向きにする。
- ⑥キャスター ロックレバーを下げる、ロックする。(左右)
- ⑦ストッパーを下げる、ロックする。(左右)

警告

- ・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。
- ・移動させるとき以外は、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。
- ・本体を持ち上げて移動するときは、テーブルを持たない。テーブルが外れ、本体が落下するおそれがあります。
- ・お子さまを乗せたまま走行したり、はずみをつけたり、つき放したりしない。

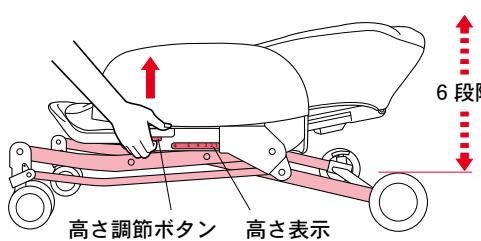
注意

- ・移動させるときには、キャスターとストッパーをロックしたまま横すべりさせないでください。床面を傷つけるおそれがあります。

1 準備

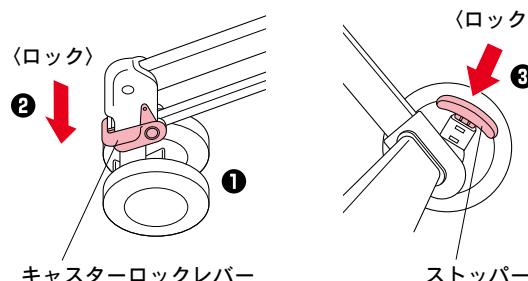
〈高さを調節する〉

- ・本体を少し持ち上げるとスムーズに調節できます。



- ①本体を少し持ち上げ、左右の高さ調節ボタンを押し込み、左右が同じ高さになるように本体の高さを調節する。
- ②利用する高さにして、高さ調節ボタンから指を離す。
- ③固定されていることを確認する。
- ④左右の高さを確認し、高さが違う場合は、もう一度やりなおす。

〈キャスターとストッパーをロックする〉



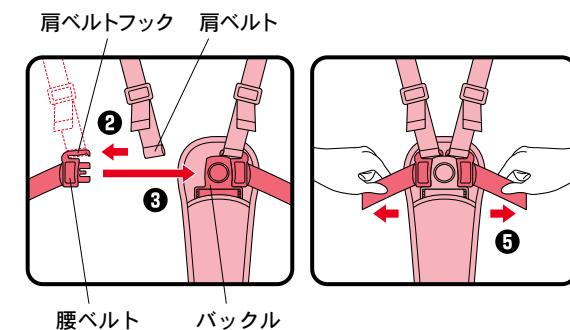
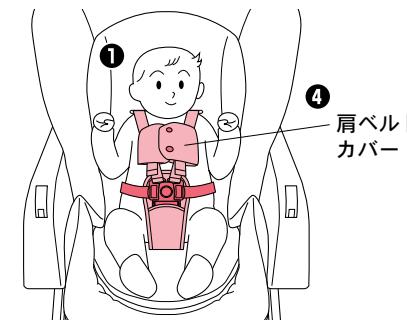
- ①キャスターを内向きにする。
- ②キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)
- ③ストッパーを下げ、ロックする。(左右)

- 下げにくい時は車輪を前後に動かすと下げやすくなります。

- 警告**
- ・お子さまを乗せたままで高さ調節をしない。
 - ・高さ調節をするときは本製品の脚などで手、指などを挟まないように注意してください。
 - ・高さ調節は、お子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをすることがあります。
 - ・移動時は車輪、キャスターの回転部などで手、指などを挟まないように注意してください。
 - ・移動させるとき以外は、必ずキャスターとストッパーをロックしてください。

2 乗せ方

〈お子さまを乗せてシートベルトを締める〉



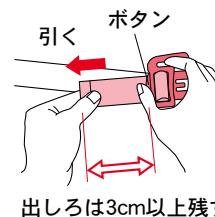
- ①お子さまを乗せる。
 ②肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。
 ③腰ベルトをバックルに差し込む。
 ④肩ベルトカバーのホックをとめる。
 ⑤左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。
 ※肩ベルトと腰ベルトと股ベルトの長さは、お子さまの体格と姿勢に合わせて調節してください。(P10 参照)

- アドバイス
- ・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようして使用してください。
 - ・肩ベルトがねじれていなか確認してください。

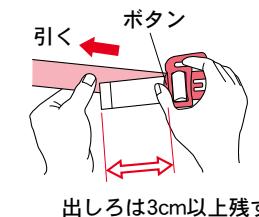
- 警告**
- ・シートベルトを締めた後は、左右の腰ベルトを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをすることがあります。
 - ・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがあ子さまの首に巻き付くことがあります。
 - ・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
 - ・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。車体の転倒やお子さまが落ちるおそれがあります。

〈腰ベルトの調節〉

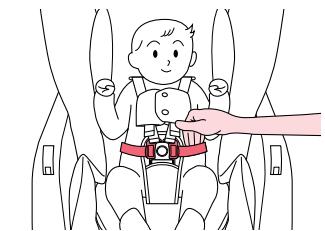
〈締める時〉



〈緩める時〉



- ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。



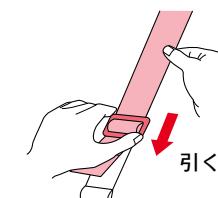
- ・腰ベルトの長さは腰ベルトとお子さまの間に大人の指が4本入る程度が適当です。

〈肩ベルトの調節〉

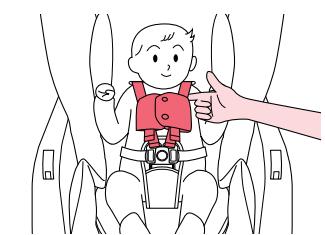
〈締める時〉



〈緩める時〉



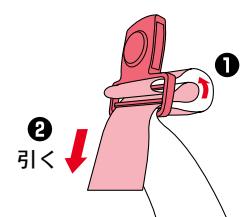
- アジャスターを引き、長さを調節する。



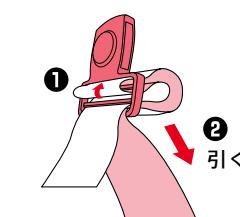
- ・肩ベルトの長さは肩ベルトとお子さまの間に大人の指が1本入る程度まで締める。

〈股ベルトの調節〉

〈締める時〉



〈緩める時〉



- ①ベルトを引き出す。
 ②ベルトを引き、長さを調節する。

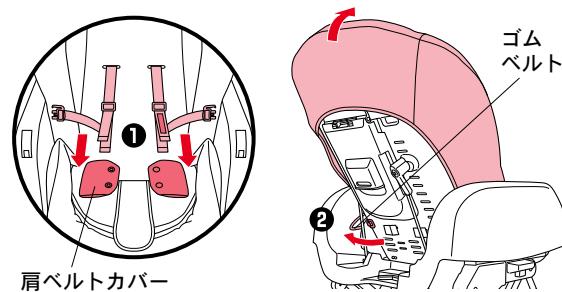
- ・調節後、バックル裏のホックと股ベルトカバーのホックがとまっていることを確認してください。(P18 参照)



- ・腰ベルト、肩ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
- ・腰ベルト、肩ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落ちるおそれがあります。
- ・肩ベルトカバーは必ずホックをとめて使用する。
- ・腰ベルトの末端の出しろ(←→部分)は必ず3cm以上残す。
- ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。

肩ベルトの収納のしかた

・お子さまが座高46cm(参考月齢18ヶ月)を過ぎたら、肩ベルトは使用できません。
下記のようにして本体とシートの間に収納してください。

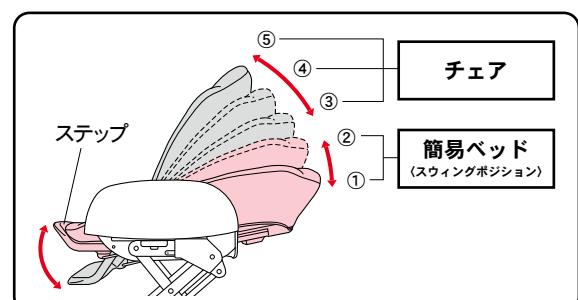
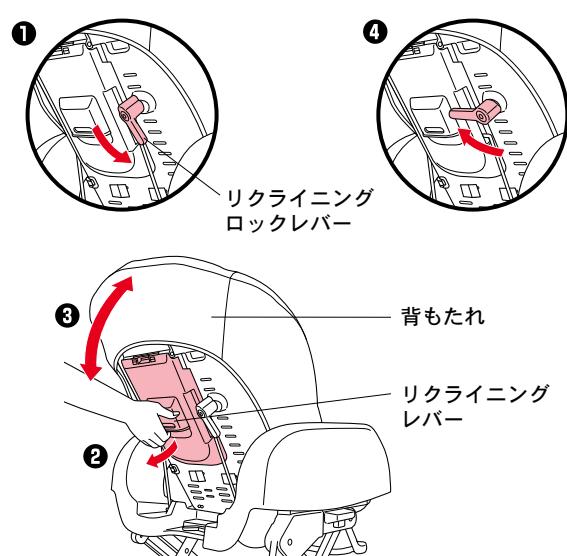


- ①バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを外し、肩ベルトカバーを外す。
- ②背もたれ背面のゴムベルトを外し、(左右)シートをめくる。

・肩ベルト収納時は、肩ベルトカバーを大切に保管してください。

リクライニングの使い方

・リクライニングは5段階に調節できます。



- ①リクライニングロックレバーを縦位置にしてロックを解除する。
- ②リクライニングレバーを引き上げ、背もたれの角度を調節する。(リクライニングを調節すると、連動してステップが上下します。)
- ③利用する角度にして、リクライニングレバーを戻す。
- ④リクライニングロックレバーを横位置にしてロックする。



- ・リクライニング操作時は背もたれ、座面、アームレストなどで手、指などを挟まないように注意してください。
- ・リクライニング操作時はお子さまが接触した状態や近くにいるときには行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、製品本体が身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
- ・リクライニングの調節後は、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。



- ・ステップはリクライニングと連動します。お子さまの足が挟まないか注意してください。

テーブルの使い方

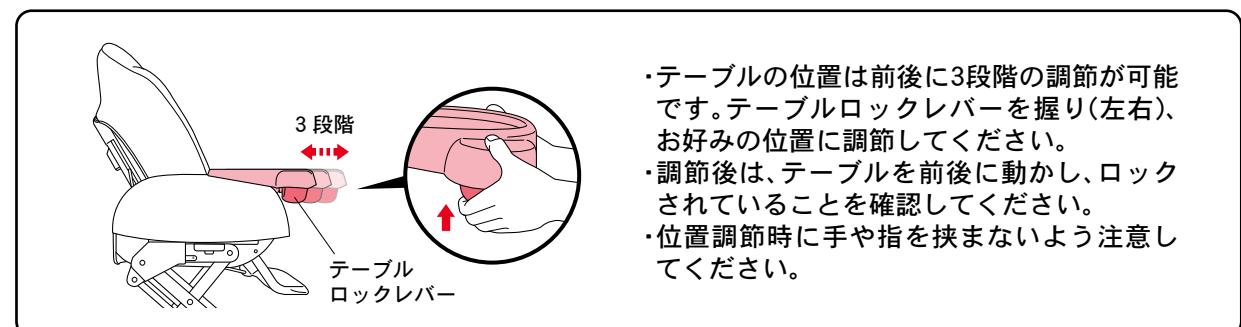


- ・テーブルでは、お子さまの抜け出しや転落を防ぐことはできません。必ずシートベルトを使用すること。
- ・テーブルを取り付けるときや位置を調節するときは、手、指などを挟まないように注意する。
- ・テーブルの上に乗せたり、たたいたりしない。落下するおそれや破損の原因となります。
- ・テーブルを取り付け後、手や指などを挟まないように注意する。

〈取り付け方〉

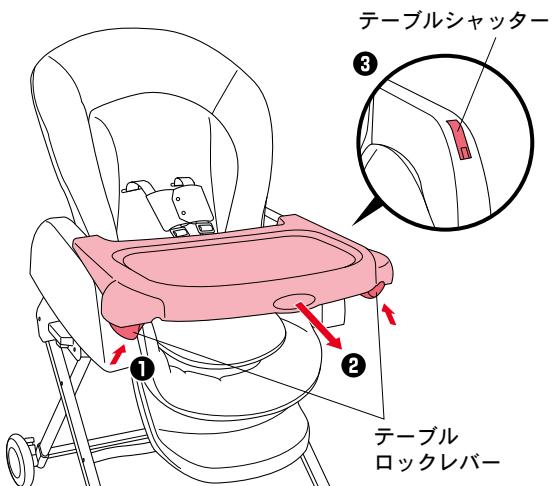


- ①テーブルシャッターにテーブルを合わせて差し込む。
- ②テーブルを軽く前後に動かし、ロックされていることを確認する。



- ・テーブルの位置は前後に3段階の調節が可能です。テーブルロックレバーを握り(左右)、お好みの位置に調節してください。
- ・調節後は、テーブルを前後に動かし、ロックされていることを確認してください。
- ・位置調節時に手や指を挟まないよう注意してください。

〈取り外し方〉



- ①テーブルロックレバーを握る。(左右)
- ②テーブルを引き抜く。
- ③テーブルシャッターが閉まる。



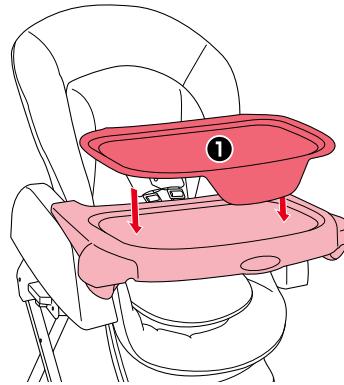
- ・テーブルを取り付けていない場合、テーブルシャッターは閉まっています。その状態でお子さまがシャッター内に指を入れると、けがをするおそれがあります。

トレーの使い方(一部グレードのみ)



- トレーの取り付け、取り外しの際には、テーブルとの間に指を挟まないように注意してください。
- トレーの上にものを乗せたまま、トレーの取り付け、取り外しを行うと乗せたものが倒れ、やけどのおそれがあります。
- トレーの上に熱いものを乗せないでください。トレーが変形するおそれがあります。
- 電子レンジや食器洗い乾燥機は使用しないでください。トレーが変形するおそれがあります。

〈取り付け方〉



①トレーをテーブルに合わせて、

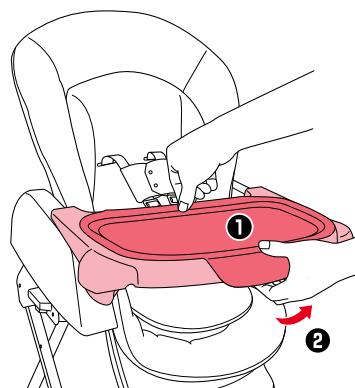


②「カチッ」と音がするまで押し込んで、取り付ける。



- テーブルとトレーの間にものがないことを確認してください。
- トレーに浮きがなく、正しく装着されていることを確認してください。
- トレー先端のロックがテーブルに掛かっていることを確認してください。

〈取り外し方〉



①トレーの上面に親指をかける。
②トレーの先端を引っ張り上げる。



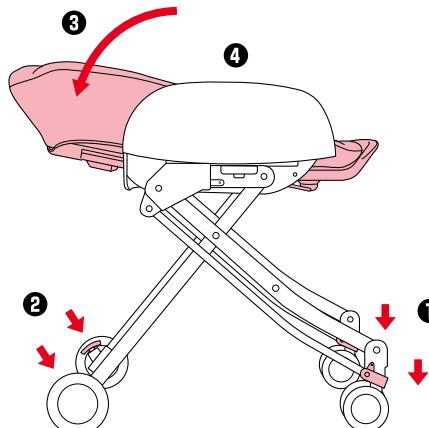
- トレーが外しにくい場合には後側を持ち上げると軽く外れます。

スwingの使い方

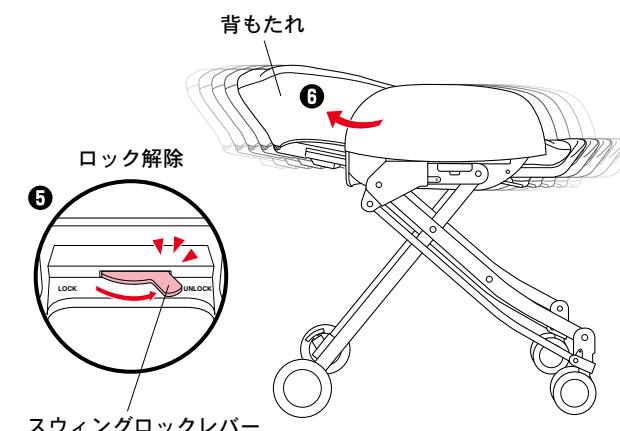


- スwingは、保護者が行い、必ず付き添っていること。またスwingは1回15分を超えないこと。
- 傾斜や段差のあるところで使用しない。
- スwingポジション以外ではスwingさせない。
- スwingさせる時以外は、スwingロックを解除しない。
- スwing時は、前後に行き当たるまでスwingさせない。前後に行き当たるとお子さまに衝撃が加わるおそれがあります。
- スwing中は本体などで手、指、衣類などを挟まないように注意してください。

〈スwingする場合〉



- キャスターロックレバーを下げ、ロックする。(左右)
- ストッパーを下げ、ロックする。(左右)
- 背もたれをスwingポジションにする。(P11参照)
- お子さまを乗せ、シートベルトを正しく装着する。(P9参照)

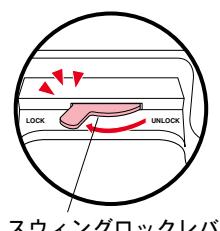


- スwingロックレバーを「UNLOCK」側へ動かし、スwingロックを解除する。
- 手でゆっくり押して、前後ともに行き当たらない範囲でスwingさせる。



- 背もたれを持ってスwingすることをおすすめします。
- スwingさせた時に、本体が上下に揺れる場合は、お子さまの股間の位置を股ベルトの出位置に合わせて、お子さまを乗せてください。

〈スwingをロックする場合〉



- スwingロックレバーを「LOCK」側へ動かし、ロックする。



- スwingが停止している状態で、スwingロックレバーが「LOCK」側に寄り切るまで動かします。動かした後、スwingしないことを確認してください。

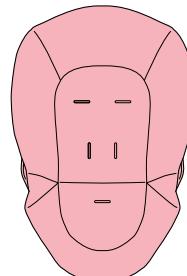
縫製品の使い方



・シートを取り外した状態で、お子さまを乗せて使用しない。

〈シート〉

・必ずご使用ください。



〈新生児ピロー〉

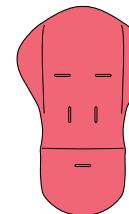
(一部グレードのみ)

・お子さまの発育に合わせて最長6ヶ月頃まで使用できます。



〈新生児マット〉

・お子さまの発育に合わせて最長6ヶ月頃まで使用できます。



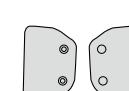
〈股ベルトカバー〉

・36ヶ月まで必ずご使用ください。



〈肩ベルトカバー〉

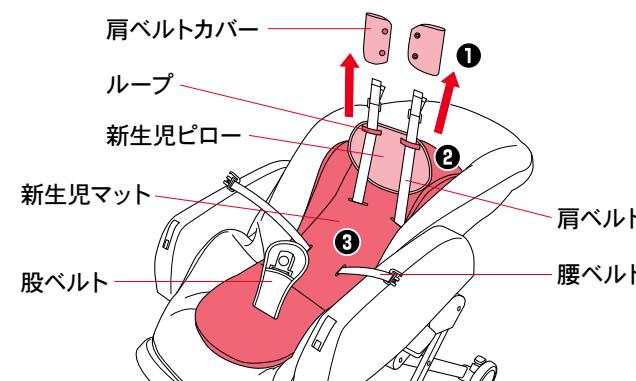
・座高46cm(月齢の目安:18ヶ月)まで必ずご使用ください。



縫製品の取り外し方

〈新生児ピロー (一部グレードのみ)・新生児マットの取り外し方〉

・お子さまの発育に合わせて最長6ヶ月頃まで使用できます。

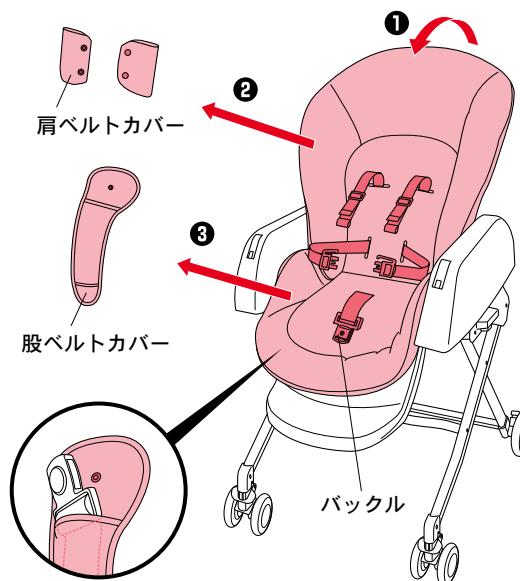


- ①バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを取り外し、肩ベルトカバーを抜き取る。
- ②新生児ピローを抜き取る。
- ③肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを取り外し、新生児マットを取り外す。

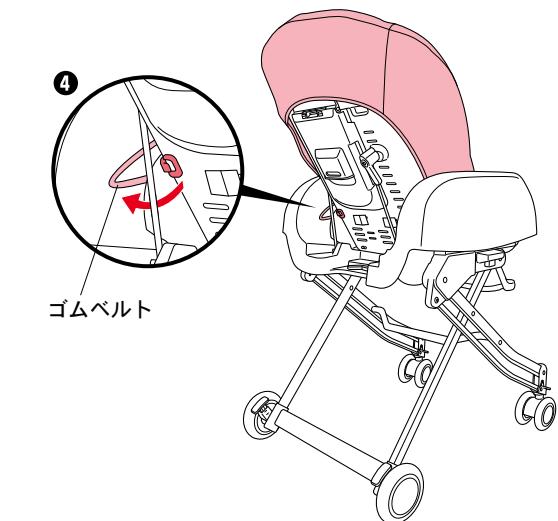
・取り付ける時は逆の手順で行ってください。
(新生児ピローは裏面のループに左右の肩ベルトを通して取り付けます。)

縫製品の取り外し方

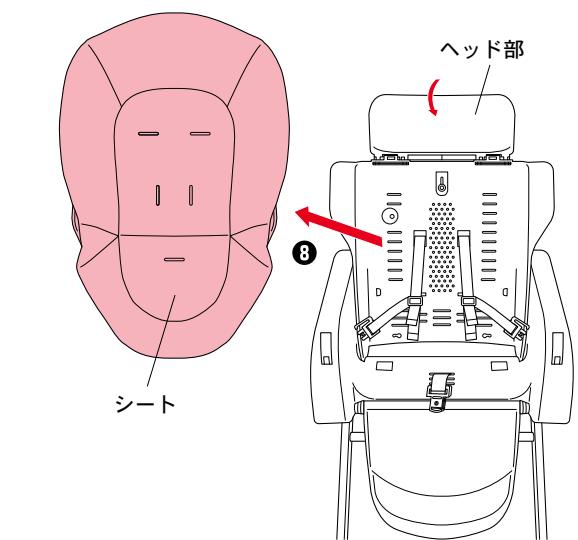
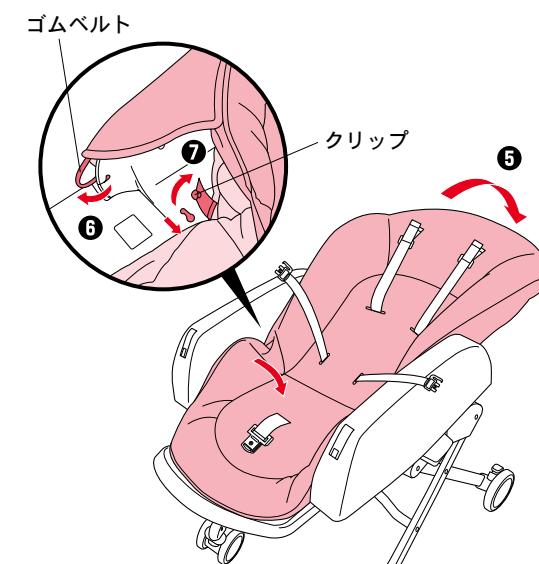
〈肩ベルトカバー・股ベルトカバー・シートの取り外し方〉



- ①リクライニングを起こす。(P11参照)
- ②バックルを押して肩ベルト、腰ベルトを取り外し、肩ベルトカバーを取り外す。
- ③バックル裏のホックを取り外し、股ベルトカバーを取り外す。



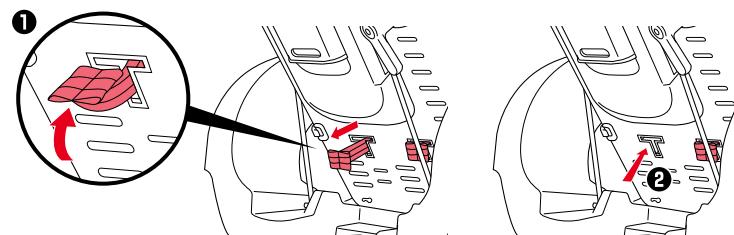
- ④背もたれ背面のゴムベルトを外す。(左右)



- ⑤リクライニングを倒す。
- ⑥座席中央部のシートをめくり、本体横の切り込み部分からゴムベルトを取り外す。(左右)
- ⑦座面シート裏のクリップを内側にスライドさせて抜く。(左右)
- ⑧ヘッド部からシート上部をめくり、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを取り外す。

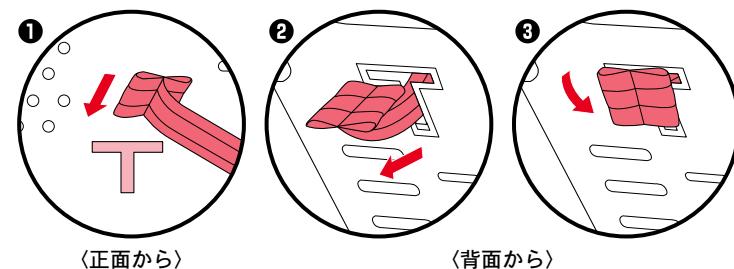
腰ベルトの取り外し方

〈取り外し方〉



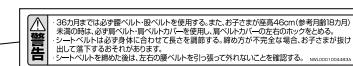
- ①背もたれ背面の腰ベルトを引き、T字部分を通し穴にあわせる。
- ②前面方向へ腰ベルトを抜き取る。

〈取り付け方〉



- ①本体正面からT字部分の形をあわせて差し込む。
- ②背もたれ背面側から腰ベルトを引き出す。
- ③腰ベルトのT字部分を横向きにして抜けないようにする。

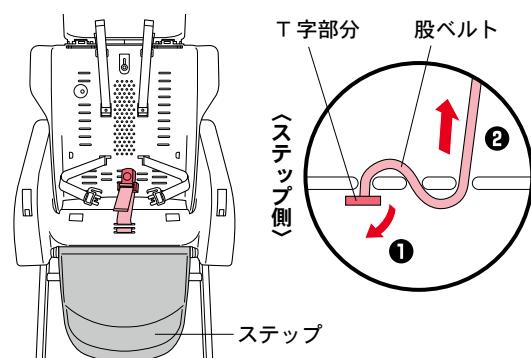
〈警告ラベル〉



- ・腰ベルトには左右があります。向かって右側の腰ベルトには、上記の警告ラベルがついています。警告ラベルが表に見える向きに取り付けてください。

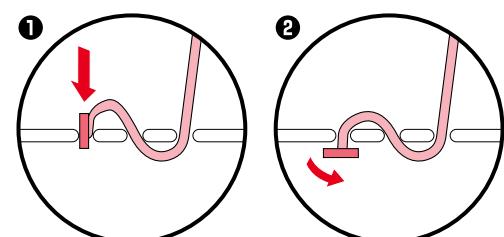
股ベルトの取り外し方

〈取り外し方〉



- ①座面の股ベルトをゆるめて、T字部分を通し穴にあわせる。
- ②股ベルトを抜き取る。

〈取り付け方〉



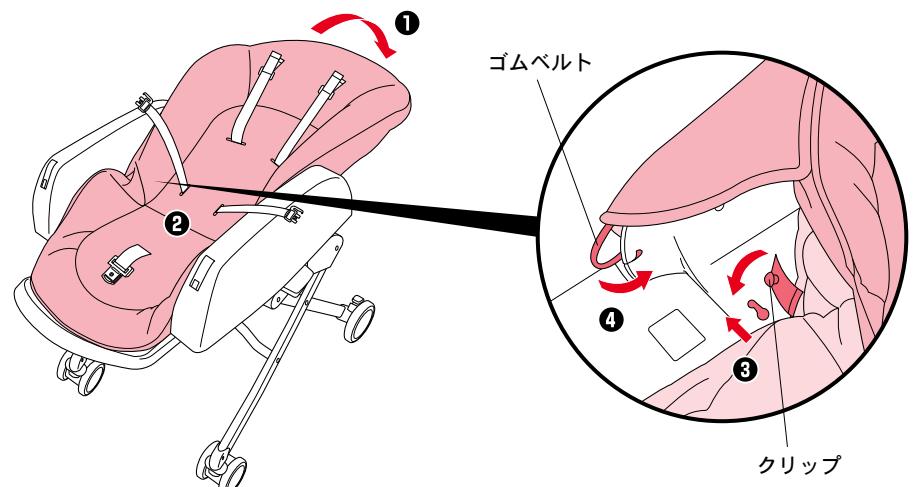
- ①座面の通し穴にT字部分をあわせて差し込む。
- ②股ベルトのT字部分を起こして抜けないようにする。

縫製品の取り付け方



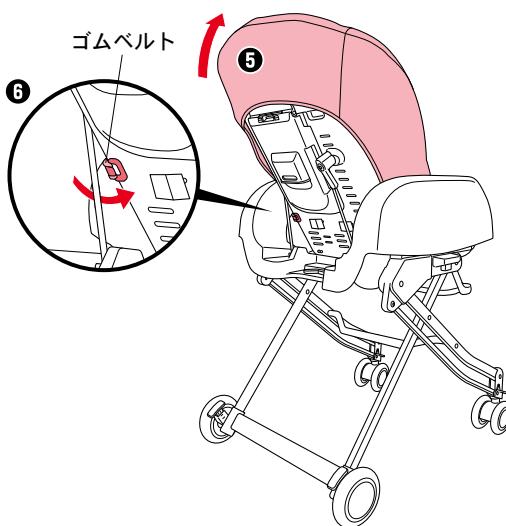
- ・シートを取り外した状態で、お子さまを乗せて使用しない。

〈シート・股ベルトカバー・肩ベルトカバーの取り付け方〉



- ①リクライニングを倒す。
- ②シートをヘッド部にかぶせ、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを通す。

- ③座面シート裏のクリップを差し込み、外側にスライドさせて固定する。(左右)
- ④本体横の切り込み部分にゴムベルトをとめる。(左右)



- ⑤リクライニングを起こす。
- ⑥背もたれ背面のゴムベルトをとめる。(左右)

- ⑦股ベルトカバーを取り付け、バックル裏のホックと股ベルトカバーのホックをとめる。股ベルトカバーの先端はシートの裏側に出す。
- ⑧肩ベルトカバーを通して、ホックをとめる。
- ⑨肩ベルト、腰ベルトをバックルに差し込む。

縫製品の洗浄方法

- 以下の点に注意して洗濯してください。

〈シート、新生児マット、新生児ピロー、肩ベルトカバー、股ベルトカバーの洗浄について〉



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止



- 縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
- アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの洗浄について〉

- 丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合

40°C前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合

中性洗剤を40°C前後の湯に溶かし、タオルに浸し、汚れた所を充分に洗います。その後、冷水又は温水にタオルを浸し中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

車体のお手入れ



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。
- 破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、弊社お客さまサポートセンターへお問い合わせください。

〈樹脂部分のお手入れについて〉

- 汚れは、水にひたして固く絞った布で拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤で拭き取った後、乾いた布で仕上げてください。

〈トレーのお手入れについて〉

- トレーは取り外して、水洗い頂けます。
- 洗剤をご使用の際は、中性洗剤を使用してください。
- たわしのような硬いものや、研磨剤を使用して、洗浄しないでください。

〈金属・パイプなどのお手入れについて〉

- フレームについたホコリなどは、そのまま放置しないで必ず拭き取ってください。拭き取りにはよく絞ったぬれタオルを使用してください。

〈車輪のお手入れについて〉

- 車輪の汚れがひどいときには、中性洗剤で拭き取ります。その後、よく絞ったぬれタオルで中性洗剤を拭き取ってください。

〈ネジ・ナット類について〉

- ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検してください。ゆるみがある場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P21参照)

保管について

- 本体をポリ袋などに入れ、直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。
- 上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。



- 火気及び温風機など、高温になる場所に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。

廃棄について

- お住まいの各自治体の指示にしたがって処分してください。
- 環境保護のため、指示された場所以外には廃棄しないでください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。

ただし、ハイローベッド＆チェアの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- 事故の原因となったSGマーク表示の製品
 - イ) 製品の名前、SGマーク番号 製品の購入先、購入年月
- 事故発生の状況
 - イ) 事故発生年月日 事故発生場所 事故発生状況
- 被害の状況
 - イ) 被害者の氏名、年令、性別、職業、住所 被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

〈保証について〉

- ・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
- ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。(修理箇所の保証期間は1ヶ月です。)
- また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。(部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。)

〈アフターサービスについて〉

- ・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号(下図参照)をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、本製品脚部の品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート(領収書)を貼り付けてください。

アフターサービスについての連絡先

ニューウエルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー用品 お客様サポートセンター **TEL 0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) **TEL 0570-004-155**

受付時間: AM10:00~PM5:00 (土、日、祝日、弊社所定休日を除く)